

## B. 円滑な学位授与の促進

### ④多様な学生に対する長期履修制度や早期修了制度の導入

#### ●横浜国立大学 国際社会科学部企業システム専攻

#### 「ビジネス・ドクター育成プログラム」の事例 <人社会系>

##### 具体的に何を実施し、何が困難であったのか

有職者の博士号（経営学）取得者（ビジネス・ドクター）の育成は、博士課程後期の段階で多くの院生が長期履修制度を利用するため、一般的なケースでも博士課程前期への入学から学位の取得までに8年近くの時間がかかることになり、より長期的な視点からプログラムの開発と継続的できめ細かい研究指導体制の構築を図る必要が生じた。

##### 苦勞したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか

本プログラムを実施する前後から本学のビジネス・スクールを中心に、有職者の博士課程進学者が予想を上回るスピードで増加し、そのほとんどが長期履修制度を利用したため、研究指導をよりきめ細かなものにする必要が生じた。

##### どのように対応し、そのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか

長期的な研究の基礎となる研究方法を学ぶ「リサーチ・メソッド」を導入して、研究面でのサポートを行い、年度ごとの研究指導状況を院生と指導教員が報告する「就学研究進捗状況報告書」を導入することで指導面でのサポートを行ったが、プログラム導入時に入学した院生はまだ博士論文の完成時期に至っていないことから、今後も状況に応じて適切な対応を図っていく必要がある。